

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスfun		R8年 3月 19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		✓	机や棚を配置し、スペースを分けて使えるようにしている	人数に対し、事業所内のスペースが狭い
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	✓		3~4名のスタッフで対応している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		✓	運動スペース、机上活動スペースと机などで場所を区切っている	トイレなどバリアフリーになっていない場所があるため、現状はスタッフの介助で対応している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	✓		定期的に掃除を行い、おもちゃも消毒などを行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		✓	マットや家具を工夫して空間を作っている	個室はないが、クールダウンができる空間が欲しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	✓		スタッフ間で定期的に話し合いを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		頂いたご意見を参考に改善するところは改善していきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		話しやすい雰囲気づくりを心掛けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		✓	ボランティアや実習生などの受け入れは積極的に行っている	第三者評価などは実施できていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	✓		個人が参加したい研修は積極的に参加してもらい、事業所内でも支援に繋がる研修を定期的に行っている	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	✓		ホームページ上にアップしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	✓		保護者への聞き取り、本人へ聞いたりしながら定期的に行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	✓		スタッフ間で連携して評価を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	✓		スタッフ間で共有している	
	15	こどもの対応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	✓		保護者に用紙にてアセスメントを行い、スタッフ間でもモニタリングを含め、行動観察からアセスメントを行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	✓		1人1人にあつた、希望、課題、目標を設定し作成に当たっている	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	✓		スタッフ間でミーティング時に行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	✓		子ども達にも聞き取りを行いながら考えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	✓		1日の流れや下校時間などを踏まえて過ごしを検討している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	✓		ミーティングの時間を必ず設けている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	✓		今日の振り返りを共有する時間を設けている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	✓		様々な人が記録し、意見の偏りがでないようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	✓		みんなが意見を出し合いながら見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	✓		自分たちに何が出来るか、子ども達の発達段階に合わせて考えている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	✓		自発的に「自分がしたいこと」を見つけていく事を大事にしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	✓		積極的に会議には参加するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	✓		積極的に機会があれば参加したいと思っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	✓		先生方との引継ぎなどの連携を積極的に行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	✓		出来る限り、行くようにしており、子どもが安心して移行できるようにしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	✓		出来る限り、行くようにしており、子どもが安心して移行できるようにしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	✓		他機関とも積極的に連携していきたい	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		✓	機会があればしたいが、現在はそのような機会はない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	✓		積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓		話し合う時間を設け行っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	✓		保護者勉強会や親子交流会の機会を設け行っている		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓		契約時に説明を行っている		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	✓		日々、子どもの声の聞き取りを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	✓		面談の機会を設けその際説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	✓		随時対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	✓		保護者会などはないが、保護者勉強会や親子交流会で保護者で交流する場を設けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	✓		現在苦情はないが、苦情マニュアルを設定している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	✓		活動写真を定期的に送ったりSNSを活用して迅速なやりとりができるようにしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓		個人情報のマニュアルを設け徹底して行っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓		電話以外にも文字など記録に残るやりとりを行ったり、子ども達には写真などで視覚的支援を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	✓		ハロウィンの際には地域の方に協力を頂いたり、地域参加している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	✓		定期的に訓練を行っている	保護者の方がマニュアルを知る機会がないため、面談時などにどのようなことをしているか説明を行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	✓		備品の確認や定期的にシミュレーションを行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	✓		年度初めに確認を行い漏れのないよう対応をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	✓		アレルギーについて、職員間で周知を徹底し、事故のないよう対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	✓		計画的に行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	✓		避難場所の確認などを行っている	周知の徹底が不十分なところがある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	✓		細かな危険でもヒヤリハットにあげて職員間で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓		定期的に研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	✓		委員会を設置しており、事態に対応できるようにしているが、現在このような事例はない		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	fun		
○保護者評価実施期間	R8年2月 16日 ~ R8年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R8年 2月 16日 ~ R8年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの様子に合わせて活動を設定できる自由さがあるところ	プログラムに子どもを当てはめるのではなく、子どもにしたいに耳を傾け、「この子達であれば、これが楽しめるのでは」と遊びを作り子ども達が楽しめるように活動を設定している	声を上げにくい子ども達のしたいこともしっかり拾っていききたい
2	おやつ作りを行い、いろんなおやつを食べる機会を設けている	おやつ会議を開き、「こんなおやつが食べたい」など子どもの要望を聞く機会を設けている。 家で食べないおやつでも、事業所であれば食べれるものもあつたりと、食べれる幅を広げる機会になっている。	アレルギーの子でもアレルギーを考慮したうえで、お友達と一緒に物が食べれる、食べることの楽しさを感じてもらおう工夫していく
3	話しやすい職場環境	少人数だからこそ、スタッフ間で連携がとりやすく子ども達のことについて話す機会を多く設けている。 共通認識を持つことで子ども達に統一した支援ができるように対応している。	バイト関係なく、子どもの情報がしっかり共有できる環境を作っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の狭さ	ワンフロアであるため、賑やかな環境が苦手な子がしんどくなったり、宿題に集中しづらい環境がある	家具の配置や、マットなどの備品を使用し、空間を作る事で、周囲を気にせず過ごせる環境を作っているが、もう少し、空間が分けられる環境が欲しい
2	バリアフリーになっていない	入口に段差があり、事業所内は車いすでの移動は難しい今は職員が介助することでなんとか対応している	障害にかかわらず受け入れられるようにバリアフリーなどの環境を整えていきたい
3	車が2台しかない	2台しかないため、送迎の面で制限がある	近隣にある同法人の事業所と協力し送迎しているもう少し柔軟に送迎できる環境を作って行きたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス fun
------	----------------

公表日 R8年3月19日

利用児童

数 17

回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	2				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	8				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	11				以前より専門的に支援を提供されているように思う	
	5	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	9	2			柔軟に対応してもらっている	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	4	5	2			やってほしいなどの要望があれば検討する
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1			職員と直接的に話す機会が少なく十分に出来ているか不安を感じる事がある	面談を定期的に行ったり、相談などがあれば随時対応させていただいているので継続して行う
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	10	1			参加したい気持ちがあるので早い目に案内して欲しい	年間予定を立てて、早い目に告知したいと思います
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11					
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				LINEで連絡できるのがありがたい	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	1			SNSで定期的に活動写真を行っているが、全体での会報などは作成していない
非常 時 等 の 対 応	14	個人情報に十分注意しているか	11					
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4				マニュアルを策定しているが、周知が不十分なこともあるので、面談などを活用し保護者にも周知を行う
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他、必要な訓練が行われているか	7	4				定期的に行っているが、周知は不十分なことがあるので、面談などを活用し周知を行っていく
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11					
	18	事業所の支援に満足しているか	11					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス funwari		令和8年 3月 19日					
	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ	どちらともいえない			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			訓練室はないが、学習・運動等、活動ごとのスペースを区切っている	少し空間が広すぎる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		1	他事業所と連携をとり、体制を調整している	配置数は適切であるが、充分とはいえない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		迷いやスクリーン等の視覚支援を取り入れ、子どもに分かり易く表示している バリアフリーは適切である	構造化は充分でない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			毎日、清掃や消毒を行い、衛生面に配慮している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		塀や壁を利用したり、マットで区切り個別の空間を設けている	個別化をはかる空間部屋はない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1			会議の場を設けることができていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				保護者アンケートの意見や要望の周知はしているが、改善が難しい意見もあり
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		スタッフ間で定期的にミーティングを行い、支援の振り返りや改善については話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5			第三者評価の実施を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			保護者からの様子だけでなく、必要に応じて、学校や関係機関とも情報交換を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			子どもたち個々に合わせた活動内容を考えている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			長期休みでも外出先が重ならないように計画を立てている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			支援開始前に送迎や子どもの様子、スケジュール等を共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1			そのような機会がない為、今後あれば利用していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		近隣の大学との交流や、イベントの際には参加している	以前はあったが、ここ数年は機会がない地域で行われている交流活動や、交流スペースを活用していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時に申し送りや情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6				
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6					
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6					
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6					

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6					
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6					
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6					
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6					
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6					
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6					
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	1			そのような機会がない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2				訓練は実施しているが、ブログ・インスタでの発信のため、実施内容までをご家庭に周知できていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			大雪等の自然災害時、安全確保を優先し、保護者へ連絡の上、迎えを依頼する等対応を行っている		今後も非常時の対応（保護者への引き渡し訓練）や体制の確認を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			服薬管理について、確認体制を見直す必要がある場面があった		管理・服薬のチェック体制を強化し、スタッフ間での声掛けを徹底することで再発防止に努める
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6					
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6					
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6					
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6						対象児童が不在だが、今後必要となる場合に備え、身体拘束に関する研修やスタッフ間での確認を実施していく

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス funwari		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 7日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 29名	(回答者数) 22名	
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 14日		～ 令和8年2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数) 6名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの興味・関心や、発達状況の応じて、活動内容を柔軟に組み立てている	子どもの興味や「やってみたい」という気持ちに応じて、スタッフが活動を提供しており、「何をしたいか」「どんなことに興味があるか」を日々の関わりの中で丁寧に捉え、活動の選択肢や内容に反映させている	子どもの「やってみたい」という思いをより広げられるよう、活動の選択肢や活動や過ごし幅を工夫し、多様な経験に繋げていく
2	固定化したプログラムにとらわれず、子どもたちの興味や「やってみたい」という気持ちに応じて、活動を立案したり選択し、主体性を大切に支援を行っている	子どもの興味関心やその日の状況に応じて、活動や過ごしを支援前にスタッフ間で話し合い検討している	子どもが楽しみにしている活動内容や外出について、事前に予定が分かるよう計画することに努めたり、発信の仕方を工夫していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容や予定の事前周知が十分でなく、子どもや保護者が見通しを持ちにくい場面がある	子どもの人数やその日の状況を重視し、活動を柔軟に組み立てているため、事前に固定し伝えることに難しさがある	予め大まかな予定や見通しを伝えられるよう、お知らせや送迎時での情報共有を強化していく
2	個別に落ち着いて過ごせる空間の確保が十分でない	活動スペースの広さや構造上、個別空間を明確に分けることが難しい場面がある	パーティションや配置の工夫により、落ち着けるスペースを確保できるよう環境設定を見直していく
3	現在いるスタッフの紹介・周知や、避難訓練等の実施状況の共有が十分に行き届いておらず、保護者への情報提供に課題がある	保護者への情報提供のタイミングや方法が統一されていない	情報発信のタイミングや方法を統一し、継続的に伝えられる体制を整える

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス funwari
------	--------------------

公表日 令和8年 3月 19日

利用児童
数

29

回収数

22

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1			もう少し広さ、個別的な空間があればより良いと思います	今後も活動内容やスペースの使い方を 見直し、より安心して過ごせる環境を 整えていけるように努めてまいります
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	4			スタッフさんの自己紹介があればあ りがたいです	スタッフ紹介の提示やお知らせを検討 してまいります
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー 化の配慮が適切になされているか	22					
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放 課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	22					
	5	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	22					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか	5	15	1	1		現在そのような機会はありません が、必要があれば検討してまいり ます
保 護 者 へ の 説 明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状 況や課題について共通理解ができているか	22					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われて いるか	21	1				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士 の連携が支援されているか	22					
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると ともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に 迅速かつ適切に対応しているか	17	4		1	車内のガソリンのにおいが気になり ます	今後は定期的な清掃や換気の徹底に加 えて、消臭対策も行っております
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなさ れているか	22					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡 体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信しているか	20	2				
14	個人情報に十分注意しているか	22						
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュー アルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	4		1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他、必要な 訓練が行われているか	15	6		1		
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	20	2			とても楽しみにしています 活 動を楽しみにしているので、事前に 予定を知らせてもらえると尚いい 本人の気持ちが伝わりにくく難しい が、夏休みの予定で外出があると楽 しみにしています	今後はなるべく事前に予定をお伝えで きるよう、お知らせやLINEにて決 まり次第情報発信してまいります
	18	事業所の支援に満足しているか	22				急な利用の対応してもらっているの でとても助かっています	今後も可能な範囲内ではありますが、 ご家庭の状況に応じた支援が行えるよ う努めてまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス Feel

公表日 R8 年 3月19日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化された評価について必要な児童に対して適宜実施。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせで支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	○				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		招待はしていないが、ハロウィン等のイベント時には近隣のお店に要請して利用児が訪問しイベントを実施している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Feel		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フロアのスペースが広く、大型遊具をはじめ児童が大きく体を動かして遊ぶことができる。	スイングを使うための準備(マットを敷くなど)を極力手伝わず、児童が自主的に目的を定め想定し行動が出来るように促している。	大型遊具を使った遊び方のバリエーションを増やしていく。例:スイングに乗りながらボール投げ、巧技台を使ってかくれんぼなど
2	職員の男女比率として、男性が多く活発な活動を行いやすい。また、感覚入力が必要な児童に対しては身体を使った遊びを提供しやすい	大型遊具や道具を使って遊ぶことに興味を示せない児童に対して、まずは児童やスタッフの身体を使ったダイナミックな遊びを提供し、少しずつ関係性を構築。その後、人と遊ぶ楽しさを知ってもらいながら道具を共有するなどの支援を意識している。	マンツーマンで遊ぶだけでなく、大型遊具を使って他児とも交流が出来るように意識的にスタッフが仲介していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	動きたい児童と座って作業をしたい児童の区分けが難しい	ワンフロアでの活動になるため、動きたい児童はフロアを大きく使いたい。	マットやブラダン等を使用し、座って作業をする児童や範囲を分けることを意識する。
2	事業所の活動の発信が弱い	SNSでの発信が定期的に行えていない。	SNSに投稿する際のテンプレートを作成し、なるべく簡便に投稿出来るようにしておく。 避難訓練や各研修に関する予定を保護者にも周知していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス Feel
------	-----------------

公表日 R8年3月19日

利用児童数

34名

回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	2	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	4	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	13	0	0		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	24	0	0	1		
	5	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	21	3	0	1	・どのような活動プログラムが行われているのかわかりません。	SNSやホームページでの発信頻度を高めていく
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	5	18	1	0		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	0	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	19	6	0	0	・時間が合わず参加できない	研修などを開催した際には、希望に応じてレジュメをお渡しする
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	6	0	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	5	1	0		
非常 時等 の 対 応	14	個人情報に十分注意しているか	23	2	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	8	1	0	・緊急時や感染症拡大時の対応を定期的に発信してくれると助かります。	SNSやホームページでの発信頻度を高めていく
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他、必要な訓練が行われているか	13	10	0	1		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1	0	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	25	0	0	0		